

# 2025年3月期 第1四半期 決算発表カンファレンスコール

2024年7月30日

JCRファーマ株式会社

【証券コード】 4552

【問合せ先】 経営戦略本部 広報・IR室 (TEL 0797-32-1995)

(単位：百万円)

連結	2023年度		2024年度		
	Q1 YTD	Q1 YTD	前年同期比		年間進捗率
			増減額	増減率	
売上高	10,808	<b>8,145</b>	△2,663	△24.6%	19.7%
売上原価	3,363	<b>2,073</b>	△1,289	△38.4%	19.9%
売上総利益	7,445	<b>6,072</b>	△1,373	△18.4%	19.7%
販売費及び一般管理費	5,379	<b>6,368</b>	+989	+18.4%	25.0%
販売・一般管理費	3,084	<b>3,192</b>	+108	+3.5%	25.5%
研究開発費	2,294	<b>3,175</b>	+881	+38.4%	24.4%
営業利益	2,066	△ <b>296</b>	△2,362	△114.3%	△5.5%
営業外収益	520	<b>505</b>	△15	△3.0%	-
営業外費用	326	<b>466</b>	+139	+42.9%	-
経常利益	2,260	△ <b>257</b>	△2,518	△111.4%	△5.6%
特別利益	-	<b>627</b>	+627	-	-
特別損失	0	<b>0</b>	0	-	-
税引前純利益	2,260	<b>369</b>	△1,891	△83.7%	-
法人税等	650	<b>168</b>	△482	△74.2%	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,610	<b>201</b>	△1,408	△87.5%	5.4%
(ご参考) 共同開発先による負担控除前の 研究開発費	2,469	<b>3,462</b>	+992	+40.2%	23.0%

## 連結決算概要に関する補足説明

- 売上原価の減少は、医薬品売上高の減少に伴うものです。
- 営業外費用には神戸サイエンスパークセンター（KSPC）の減価償却費が計上されております。KSPCの補助金対象固定資産は今年度末までに圧縮未決算特別勘定と相殺される見込みです。
- 特別利益には契約解約益が計上されています。

(単位：名)

	2023年 6月30日時点	2024年 6月30日時点	増減
従業員数 (連結)	911	<b>991</b>	+80

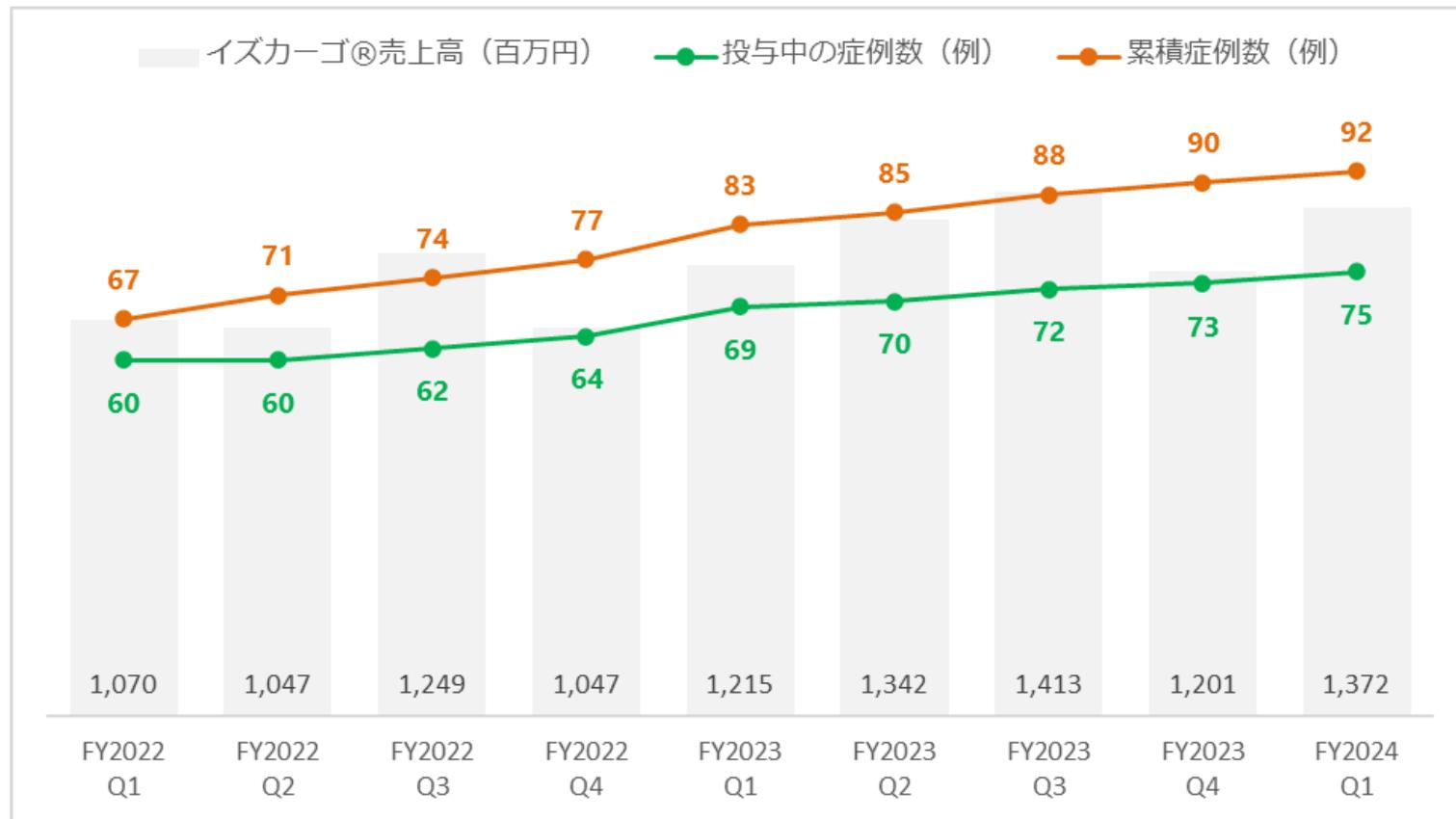
	2023年度 Q1	2024年度 Q1	増減
対売上高			
売上原価率	31.1%	<b>25.5%</b>	△5.7%
売上原価率 (契約金除く)	36.6%	<b>25.5%</b>	△11.1%
研究開発費率	21.2%	<b>39.0%</b>	+17.8%

(単位：百万円)

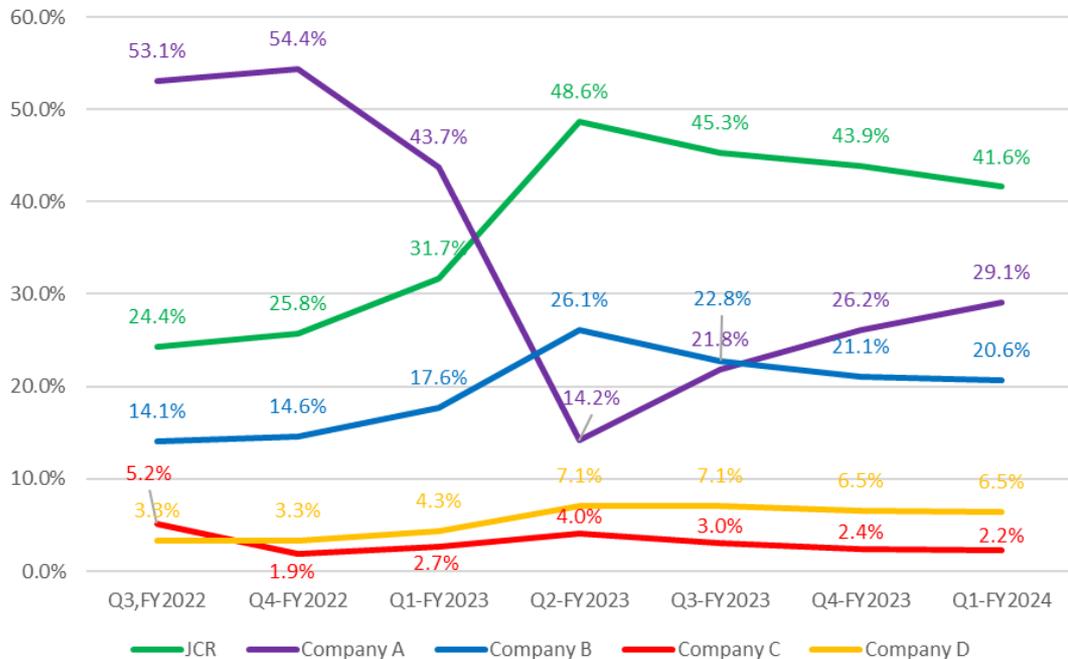
連結	2023年度	2024年度			
	Q1 YTD	Q1 YTD	前年同期比		年間進捗率
			増減額	増減率	
グロウジェクト®	4,222	<b>4,649</b>	+426	+10.1%	25.4%
イズカーゴ®	1,214	<b>1,372</b>	+158	+13.0%	24.1%
テムセル®HS注	1,063	<b>730</b>	△333	△31.4%	26.1%
腎性貧血治療薬	1,615	<b>907</b>	△707	△43.8%	21.6%
エポエチンアルファ BS注「JCR」	602	<b>515</b>	△87	△14.5%	23.4%
ダルベポエチン アルファ BS注「JCR」	1,012	<b>392</b>	△620	△61.3%	19.6%
アガルシダーゼ ベータ BS点滴静注「JCR」	471	<b>277</b>	△194	△41.2%	25.2%
医薬品等合計	8,587	<b>7,936</b>	△650	△7.6%	24.7%
契約金収入	1,612	<b>15</b>	△1,596	△99.0%	0.2%
その他	609	<b>193</b>	△416	△68.3%	17.5%
売上高合計	10,808	<b>8,145</b>	△2,663	△24.6%	19.7%

## 売上高内訳に関する補足説明

- グロウジェクト®、イズカーゴ®は好調な進捗を示し、前年同期比10%超の増加となりました。
- テムセル®は前年同期比31.4%減となりましたが、通期予想に対しては計画通りの売上進捗です。なお、通期予想は競合環境の変化により、昨年度実績より13.5%減と予想しておりません。
- 腎性貧血治療薬は、販売先であるキッセイ薬品工業株式会社への供給計画に準じた売上高となりました。
- アガルシダーゼ ベータBS点滴静注「JCR」についても、販売先である住友ファーマ株式会社への供給計画に準じた売上高となりました。
- 契約金収入は下期偏重の予想です。

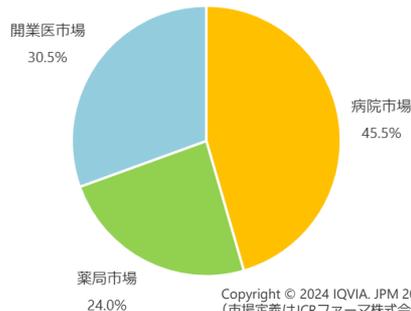


国内GH市場シェア推移（FY2022 Q3～FY2024 Q1）※薬価ベース



Copyright © 2024 IQVIA. JPM(2022年10月～2024年6月)を基に自社分析/無断転載禁止  
GH : Growth hormone (成長ホルモン製剤)

## ■ 国内GH市場

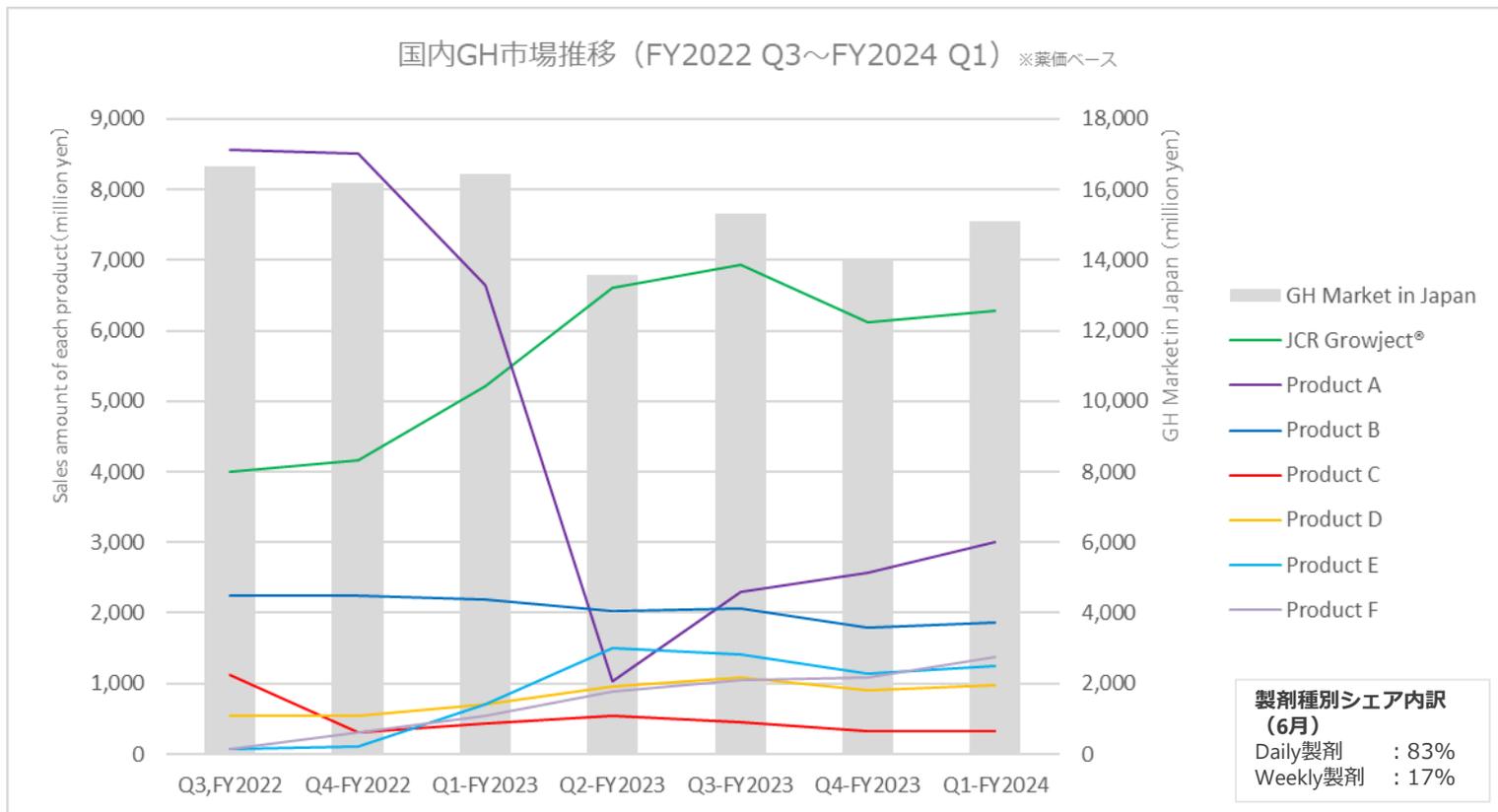


Copyright © 2024 IQVIA. JPM 2024年6月MATを基に作成  
(市場定義はJCRファーマ株式会社による) 無断転載禁止

## ■ 各市場別 グロウジェクト®獲得シェア

	2024年 6月時点	FY2024 Q1売上増減 (vs FY2023 Q1売上) ※薬価ベース
病院市場	33.6%	+520百万円
薬局市場	31.3%	+273百万円
開業医市場	62.1%	+279百万円

Copyright © 2024 IQVIA. JPM (2023年4月-2024年6月)を基に作成  
(市場定義はJCRファーマ株式会社による) 無断転載禁止



Copyright © 2024 IQVIA. JPM(2022年10月～2024年6月)を基に自社分析/無断転載禁止

GH : Growth hormone (成長ホルモン製剤)

## JR-141

血液脳関門通過型 遺伝子組換えイズロン酸-2-スルファターゼ

適応症：ムコ多糖症II型

製品名：イズカーゴ<sup>®</sup>点滴静注用10mg（日本でのみ販売、一般名：pabinafusp alfa）

- グローバル臨床第III相試験（JR-141-GS31：STARLIGHT試験）
  - Cohort Aについて、60%以上の患者登録を完了
- イズカーゴ<sup>®</sup>の添付文書を改訂

## JR-441

血液脳関門通過型 遺伝子組換えヘパランN-スルファターゼ

適応症：ムコ多糖症IIIA型

- 臨床第I/II相試験（JR-441-101試験）
  - 目標症例数である12名の登録を完了

## JR-446

血液脳関門通過型 遺伝子組換え $\alpha$ -N-アセチルグルコサミニダーゼ

適応症：ムコ多糖症IIIB型

- 臨床第I/II相試験（JR-446-101試験）
  - 治験計画届の受理、および当局による調査が終了

## JR-142

遺伝子組換え持続型成長ホルモン

適応症：骨端線閉鎖を伴わない成長ホルモン分泌不全性低身長症

- 臨床第III相試験（JR-142-301試験）
  - 治験計画届の受理、および当局による調査が終了

## JR-031HIE

ヒト（同種）骨髄由来間葉系幹細胞

適応症：新生児低酸素性虚血性脳症

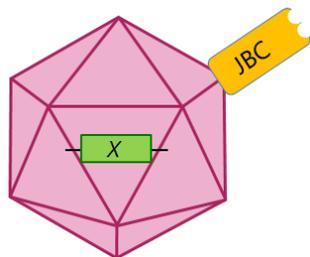
製品名：テムセル®HS注

- 臨床第I/II相試験の結果を踏まえ、開発の中止を決定

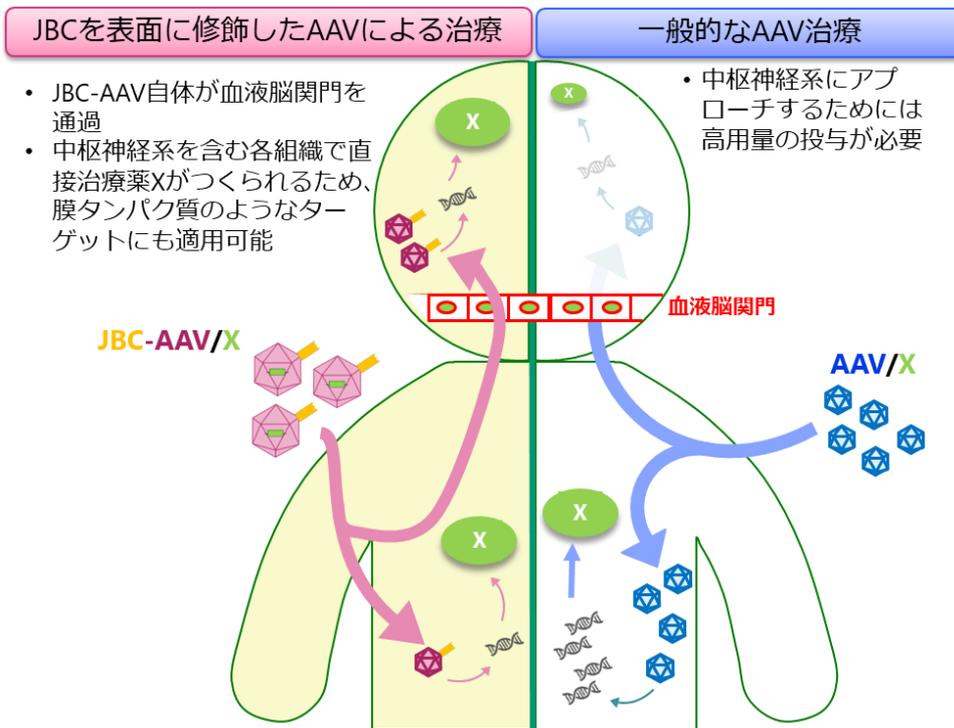
開発番号	適応症	前臨床	臨床試験	申請	承認	備考
JR-141	ムコ多糖症II型（ハンター症候群）	Global Ph3				<ul style="list-style-type: none"> <li>～2027年度 米国・欧州・ブラジルでの承認予定</li> </ul>
JR-171	ムコ多糖症I型（ハーラー症候群 等）	Global Ph1/2 完了				<ul style="list-style-type: none"> <li>継続試験が進行中</li> <li>導出に向けて交渉中</li> </ul>
JR-142	骨端線閉鎖を伴わない 成長ホルモン分泌不全性低身長症	国内 Ph2 解析完了				<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年度 Ph3試験</li> </ul>
JR-441	ムコ多糖症IIIA型（サンフィリップ症候群A型）	Global Ph1/2				<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年度 下半期 データ（1年）の解析完了</li> </ul>
JR-446	ムコ多糖症IIIB型（サンフィリップ症候群B型）					<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年度 上半期 Ph1/2試験 FPI</li> </ul>
JR-471	フコシドーシス					—

## - J-Brain Cargo<sup>®</sup>を適用した遺伝子治療のプラットフォーム技術について発表

- 7月 第7回 国際ライソゾーム病フォーラム
- 10月 The 31st Annual Congress of the European Society of Gene & Cell Therapy (予定)



J-Brain Cargo<sup>®</sup> (JBC) を修飾した  
アデノ随伴ウイルス (JBC-AAV)



***Reach Beyond, Together***

一緒に、その先へ



# Appendix

# 【2024年度 予想】 連結決算概要

(単位：百万円)

連結	2023年度 実績	2024年度		
		予想	対前年実績比	
			増減額	増減率
売上高	42,871	<b>41,300</b>	△1,571	△3.7%
売上原価	11,620	<b>10,400</b>	△1,220	△10.5%
売上総利益	31,251	<b>30,900</b>	△351	△1.1%
販売費及び一般管理費	23,719	<b>25,500</b>	+1,781	+7.5%
販売・一般管理費	12,484	<b>12,500</b>	+16	+0.1%
研究開発費	11,234	<b>13,000</b>	+1,766	+15.7%
営業利益	7,531	<b>5,400</b>	△2,131	△28.3%
経常利益	7,264	<b>4,600</b>	△2,664	△36.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,507	<b>3,700</b>	△1,807	△32.8%
(ご参考) 共同開発先による 負担控除前の研究開発費	12,787	<b>15,062</b>	+2,275	+17.8%

対売上高	2023年度	2024年度 (予想)	増減率
売上原価率	27.1%	<b>25.2%</b>	△1.9%
売上原価率 (契約金除く)	32.8%	<b>31.3%</b>	△1.4%
研究開発費率	26.2%	<b>31.5%</b>	+5.3%
営業利益率	17.6%	<b>13.1%</b>	△4.5%

# 【2024年度 予想】売上高内訳（連結）

(単位：百万円)

連結	2023年度	2024年度		
	実績	予想	対前年実績比	
			増減額	増減率
グロウジェクト®	17,913	<b>18,300</b>	+387	+2.2%
イズカーゴ®	5,171	<b>5,700</b>	+529	+10.2%
テムセル®HS注	3,236	<b>2,800</b>	△ 436	△ 13.5%
腎性貧血治療薬	4,652	<b>4,200</b>	△ 452	△ 9.7%
エポエチンアルファBS注「JCR」	1,994	<b>2,200</b>	+206	+10.3%
ダルベポエチン アルファBS注「JCR」	2,658	<b>2,000</b>	△ 658	△ 24.8%
アガルシダーゼ ベータBS点滴静注「JCR」	1,661	<b>1,100</b>	△ 561	△ 33.8%
医薬品等合計	32,636	<b>32,100</b>	△ 536	△ 1.6%
契約金収入	7,413	<b>8,100</b>	+687	+9.3%
その他	2,820	<b>1,100</b>	△ 1,720	△ 61.0%
売上高合計	42,871	<b>41,300</b>	△ 1,571	△ 3.7%

AAV	Adeno-Associated Virus	アデノ随伴ウイルス
BBB	Blood-Brain Barrier	血液脳関門
CNS	Central Nervous System	中枢神経系
CSF	Cerebrospinal fluid	脳脊髄液
CTN	Clinical Trial Notification	治験計画届
EC	European Commission	欧州委員会
EMA	European Medicines Agency	欧州医薬品庁
ERT	Enzyme Replacement Therapy	酵素補充療法
EU	European Union	欧州連合
FDA	Food and Drug Administration	米国食品医薬品局
GHD	Growth Hormone Deficiency	成長ホルモン分泌不全性低身長症

HIE	Hypoxic ischemic encephalopathy in neonates	低酸素性虚血性脳症
HS	Heparan Sulfate	ヘパラン硫酸
i.v.	Intravenous Injection	静脈注射
JBC	J-Brain Cargo®	-
MPS	Mucopolysaccharidosis	ムコ多糖症
NPS	Named Patient Supply	特定の患者への医薬品提供プログラム
ODD	Orphan Drug Designation	希少疾病用医薬品指定
Ph I	Phase I	臨床第 1 相試験
Ph II	Phase II	臨床第 2 相試験
Ph III	Phase III	臨床第 3 相試験
PRIME	Priority Medicines	アンメットメディカルニーズを対象とした医薬品の開発支援を強化するためのスキーム
R&D	Research and Development	研究開発
TBD	To be determined	未定